

# CoaguChek<sup>®</sup> XS

## クイックリファレンスガイド

### 測定の準備

- 1 試験紙容器を手元に用意します。試験紙は測定の直前に取り出してください。
- 2 試験紙のロット番号に応じたコードチップを本体に差し込んでください。
- 3 穿刺器具の準備をします。本体に血液滴下の指示ができるまで指を刺さないでください。

### 注意事項

- 初めて測定を実施する際には、必ずコアグチェック XSのセットアップ方法、及び使用方法に関し取扱説明書を参照してください。
- 検体の採取時には、必ず血液サンプリングに関する一般的注意及びガイドラインに従ってください。
- 患者測定に使用したすべての試験紙は、検査室または医療行為における廃棄方針に従って処分してください。
- 個人使用の穿刺器具は使用しないでください。



### 静脈採血の場合

注射器を用いて静脈から採血した際には、最初の4~5滴を捨ててから血液を滴下します。



- 1 ①を押して本装置の電源を入れます。平らで振動のない面に置かず、ほぼ水平になるように手で持ってください。
- 2 装置のバージョン情報が表示された後に、試験紙マークが点滅します。試験紙容器から試験紙を取り出します。  
**⚠ 試験紙を取り出した後は、すぐに容器の栓を閉じてください。**
- 3 試験紙を矢印の示す方向に奥までしっかりと挿入します。
- 4 コードチップの番号が、画面に表示されます。試験紙容器に印字されている番号と同じであることを確認してください。Mボタンを押してください。
- 5 砂時計マークが表示され、試験紙が加温されます。加温後180秒以内に試験紙に血液を滴下してください。



- 6 穿刺器具で指先を刺し、指先に血液のしずくをつくります(指を圧迫したり、きつく絞り出したりしないでください)。指からの1滴目の血液を滴下します。
- 7 試験紙の滴下部分に、血液を滴下します。あるいは検体滴下部分の横に、血液のしずくを触れさせます(毛管作用により、試験紙が血液を吸い取ります)。穿刺してから15秒以内に、血液を滴下してください。  
※ 静脈全血を使用して測定することも可能です。詳細は取扱説明書をご参照ください。  
**⚠ 血液の追加はしないでください。**
- 8 自動精度管理チェックの正常な結果が出た後に、測定が開始されます。測定結果を取得するまで砂時計が点滅します。  
**⚠ 測定結果が表示されるまで、試験紙に触らないでください。**
- 9 選択した単位で測定結果が表示され、自動的に保存されます。
- 10 測定チャンバーから試験紙を取り外し、本装置のスイッチをOFFにします。

## 表示マークリスト

表示情報及びマーク (以下のマークがスクリーンに表示されることがあります。)

| マーク   | 意味   |
|-------|--|
|       | 電池の状態:<br>・電池が満充電状態の場合、すべての目盛りが点灯しています。<br>・電池の残量が減るにつれ、各目盛りが1個づつ消えます。<br>・目盛り表示の残りが無い場合、これ以上測定を実施することができません。ただし、本装置のメモリーにはアクセスできます。 |
|       | 試験紙 (検体滴下部分なし) 加温中   |
|       | 試験紙 (検体滴下部分あり)   |
|       | 自動精度管理が正常に完了しました。  |
|       | 血液を滴下してください。   |
|       | 本装置の動作が完了するまで待つ必要があります。  |
|       | ・選択した単位での測定結果 ・エラー番号 ・コード番号  |
| %Q    | 測定結果がQuickパーセント値で表示されます。   |
| Sec   | 測定結果が秒で表示されます。   |
| INR   | 測定結果がINR (国際標準比) 単位で表示されます。  |
|       | 測定結果が選択した治療範囲を超えています。<br>(単位がINR時のみ)   |
|       | 測定結果が選択した治療範囲を下回っています。<br>(単位がINR時のみ)  |
| >     | 測定結果が測定範囲以上です。   |
| <     | 測定結果が測定範囲以下です。   |
| set   | 本装置がセットアップモードになっています。  |
| code  | 現在挿入されているコードチップのコード番号を示します。  |
| mem   | 本装置がメモリーモードになっています。  |
| error | エラーを報告します。(取扱説明書を参照してください)   |
|       | 本装置の温度が許容範囲外です。  |
|       | 測定チャンバーカバーが開いています。   |

※記載されている表示、メッセージは予告なく変更される場合がございます。

## エラーリスト

| エラー表示     | 説明                       | 対応法  |  |
|-----------|--------------------------|--|--|
|           | 血液滴下の最大許容範囲の180秒が超過しました。 | ① 装置の電源を切り、試験紙を取り外します。<br>② もう一度、同じ試験紙で新しい測定を開始します。  |  |
| 3         | ご使用の試験紙の使用期限が過ぎています。     | はじめに装置の日付設定を確認します。<br>●誤っている場合 新しい日付に設定し直します。<br>●正しい場合 ① 装置の電源を切ります。<br>② コードチップおよび試験紙を取り外します。<br>③ 新しい試験紙ロットのコードチップ、試験紙を使用します。 |  |
| 4         | 試験紙が使用できません。             | ① 装置の電源を切ります。 ② 試験紙を一度取り外してから再度挿入します。<br>※エラーメッセージが再度表示される場合は、使用できない試験紙を廃棄し、新しい試験紙を使用してください。                                     |  |
| エラー番号     | 5                        | 試験紙への血液の滴下エラーです。<br>血液量が不十分です。   | ① 装置の電源を切り、試験紙を取り外します。<br>② 血液の滴下に関する説明をもう一度お読みください。(取扱説明書記載参照)<br>③ 新しい試験紙で測定を繰り返します。   |
|           | 6                        | 測定エラーです。   | ① 装置の電源を切り、試験紙を取り外します。<br>② 新しい試験紙で測定を繰り返します。<br>※測定中に試験紙に触れたり、取り外したりしないでください。   |
|           | 7                        | 血液検体に起因するエラーです。  | ① 装置の電源を切り、試験紙を取り外します。<br>② 血液の滴下に関する説明をもう一度お読みください。(取扱説明書記載参照)<br>③ 新しい試験紙で測定を繰り返します。   |
|           | 8                        | 装置が実施する内部診断テスト中にエラーが発生しました。  | ① 装置の電源を切り、電池・電源を取り外します。<br>② 電池・電源を再挿入する前に1分以上待ってから日付と時刻を設定します。(取扱説明書記載参照)<br>※エラーメッセージが解消しない場合は、本装置に問題があります。コールセンターにご連絡ください。 |
| 試験紙マークの点滅 |                          | A: 装置の電源がON/OFFボタンでONになったときに試験紙が挿入済み状態です。<br>B: 試験紙は使用不可あるいは専用ものではありません。   | A: 試験紙を取り外します。エラーメッセージが消え、装置の準備が整った状態になります。<br>B: 試験紙を取り外し、新しい試験紙または正しい試験紙にて測定を繰り返します。   |
| 温度マークの点滅  |                          | 本装置の温度が許容範囲外です。  | ① 装置の電源を切ります。<br>② 室温 (15~32℃) で約30分放置します。   |
| QCマークの点滅  |                          | 内部精度管理チェックにて試験紙が不合格になりました。<br>この試験紙は使用できません。   | ① 装置の電源を切り、試験紙を取り外します。<br>② 新しい試験紙で測定を繰り返します。<br>※エラーメッセージが解消しない場合は、コールセンターにご連絡ください。   |
| 電池マークの点滅  |                          | 電池残量レベルが不足しています。   | 新しい電池と交換してください。  |
| IRマークの点滅  |                          | 赤外線ダウンロード中のエラーです。赤外線インターフェス経由の通信中に余分な光によりエラーが発生しました。   | 測定結果のダウンロード時は、余分な光があたらないようにしてください。   |
| コードマークの点滅 |                          | コードチップが挿入されていない、正しく挿入されていない、もしくは損傷しています。   | ① コードチップを取り外し、再度挿入します。<br>※エラーメッセージが解消しない場合は、新しい試験紙ロットのコードチップを使用してください。  |
| カバーマークの点滅 |                          | 測定チャンバーカバーが正しく閉じられていません。   | ① 測定チャンバーカバーを閉じます。<br>② エラーメッセージが消え、装置の準備が整った状態になります。  |

\*エラー7に関する注記: 試験紙は、血液凝固阻止剤の経口投与とヘパリン注射の併用療法を行っている患者さまに使用することができます。測定に影響しないヘパリンの最大濃度については添付文書を参照してください。ただし、いかなる状況下においても検体の滴下にヘパリン加キャピラリーチューブを使用しないでください。必ず指先を刺してから15秒以内に試験紙に血液を滴下してください。

血液凝固に長時間かかる患者 (>8 INR、<5% Q) に対して、まれにエラーメッセージ(6)あるいは(7)が出される場合があります。測定を繰り返す際に再びエラーメッセージが表示される場合は、別の方法を使って測定結果をチェックする必要があります。

製造販売元 ロシュ・タイアクノスティックス株式会社 販売元 積水メディカル株式会社 販売提携 エーザイ株式会社

東京都中央区日本橋二丁目1番3号 東京都文京区小石川4-6-10

〈機器関連のお問い合わせ先〉 積水メディカル株式会社 コールセンター TEL: 0120-921-207 (平日9:00~17:30)

COGC-02  
17 06 AR10000  
COGC1002EPO  
2017年4月作成